



決算説明資料

2025年3月期 第2四半期（中間期）
（2024年4月－9月）

2024年 11月 14日

日本郵政株式会社
（証券コード：6178）

1.

連結業績

- ・ 経常収益は5兆5,119億円、前中間期比1,062億円の減収
- ・ 経常利益は4,633億円、前中間期比1,281億円の増益
- ・ 親会社株主に帰属する中間純利益は1,394億円、前中間期比192億円の増益

(億円)

	2024/3期 中間	2025/3期 中間	前中間期比	通期業績予想 2025/3/31	進捗率
経常収益	56,181	55,119	△ 1,062 (△ 1.9%)	112,800	48.9%
経常利益	3,352	4,633	+ 1,281 (+ 38.2%)	7,600	61.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益 (注1)	1,202	1,394	+ 192 (+ 16.0%)	2,800	49.8%

(注1) 次ページ以降の「中間純損益」は「親会社株主に帰属する中間純損益」。

非支配株主持分を含む 中間純利益 (注2)	2,135	2,624	+ 489 (+ 22.9%)		
--------------------------	-------	--------------	--------------------	--	--

(注2) 当社の中期経営計画「JP ビジョン2025+」の目標数値である、連結当期純利益に相当する利益。

- ・ 中間純損益は日本郵便は△683億円、ゆうちょ銀行は2,228億円、かんぽ生命は628億円
- ・ 日本郵便は増収減益、ゆうちょ銀行とかんぽ生命は減収増益

■ 2025年3月期 第2四半期（中間期）経営成績

（億円）

	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	16,449	12,551	29,434
前中間期比	+ 623 (+ 3.9%)	△ 443 (△ 3.4%)	△ 1,705 (△ 5.5%)
経常損益	△ 651	3,214	1,668
前中間期比	△ 422 (-)	+ 676 (+ 26.6%)	+ 675 (+ 68.0%)
中間純損益	△ 683	2,228	628
前中間期比	△ 472 (-)	+ 406 (+ 22.3%)	+ 124 (+ 24.7%)

■ 2025年3月期 通期業績予想（2024年5月公表）

（億円）

	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常利益	△ 20	5,250	2,000
（中間進捗率）	(-)	(61.2%)	(83.4%)
当期純利益	△ 160	3,650	790
（中間進捗率）	(-)	(61.0%)	(79.6%)

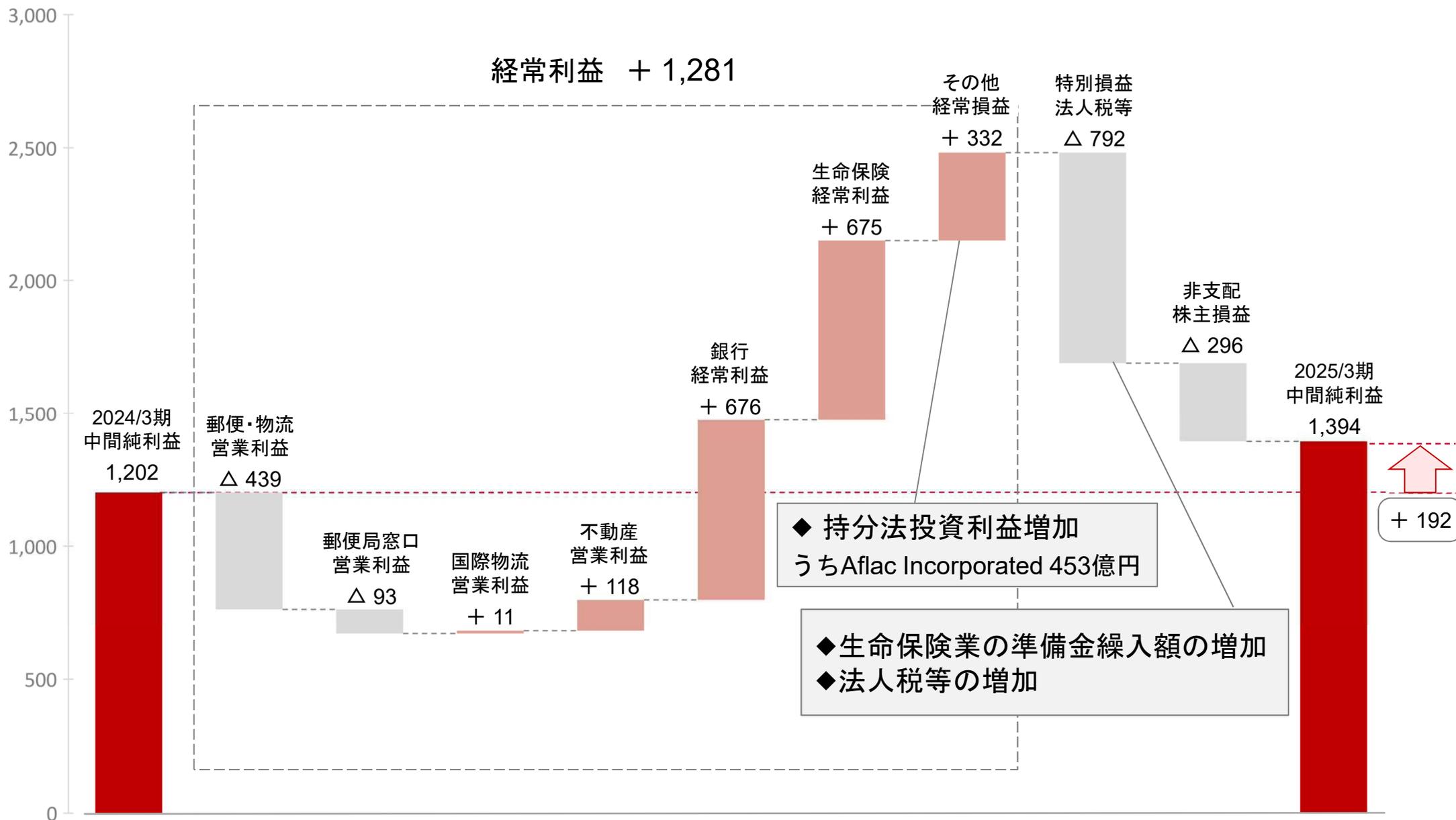
注：各社の数値は、各社を親会社とする連結決算ベース。また、「中間純損益」「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する中間純損益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。

(億円)

		2024/3期 中間	2025/3期 中間	前中間期比
郵便・物流事業セグメント	営業収益	9,415	9,392	△ 23
	営業損益	△ 508	△ 947	△ 439
郵便局窓口事業セグメント	営業収益	5,139	5,084	△ 55
	営業利益	310	217	△ 93
国際物流事業セグメント	営業収益	2,130	2,649	+ 519
	営業損益 (EBIT)	34	45	+ 11
不動産事業セグメント	営業収益	224	463	+ 239
	営業損益	△ 17	101	+ 118
銀行業セグメント (ゆうちょ銀行)	経常収益	12,995	12,551	△ 443
	経常利益	2,538	3,214	+ 676
生命保険業セグメント (かんぽ生命)	経常収益	31,139	29,434	△ 1,705
	経常利益	993	1,668	+ 675

注: 国際物流事業セグメントはEBIT、銀行業セグメント・生命保険業セグメントは経常損益、その他は営業損益を記載。

(億円)



業績予想

- ・ゆうちょ銀行及びかんぽ生命において、業績予想の修正を実施
- ・グループ連結は、日本郵便において郵便料金改定の今後の損益に与える影響が第2四半期時点では不透明であること等を総合的に考慮し、通期業績予想を修正しない

[参考: ゆうちょ銀行及びかんぽ生命における業績予想修正の要因]

- (ゆうちょ銀行) 政策金利引き上げの影響による預け金等の利息の上振れの発生及び米金融当局の金融政策転換を受け外貨調達コストの当初予想比での低下を見込むこと等
- (かんぽ生命) 運用環境が好転したことにより資産運用収益が増加する見込みであること

【会社別業績予想】

(億円)

	経常利益	増減	当期純利益	増減
		(5月時点業績予想比)		(5月時点業績予想比)
日本郵政グループ <small>注2</small>	7,600	—	2,800	—
日本郵便	△ 20	—	△ 160	—
ゆうちょ銀行	5,750	+ 500	4,000	+ 350
かんぽ生命	2,200	+ 200	1,200	+ 410

注1: 上記はいずれも連結決算ベースの数値。当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。

注2: 日本郵政の当期純利益は、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命の持分比率(ゆうちょ銀行:61.5%、かんぽ生命:49.8%)等を前提に算出。

配当予想

配当予想は修正せず、中間配当は1株当たり25円とする。

1株当たり配当	中間配当	期末配当
50円	25円	25円

※ 日本郵政株式会社法第11条に基づき、日本郵政の剰余金の配当その他の剰余金の処分(損失の処理を除く。)については、総務大臣の認可を受けなければその効力を生じない。

➤ Aflac Incorporated にかかる持分法投資利益

2025年3月期から Aflac Incorporated にかかる持分法投資利益を認識しています。

		2025/3月期		
		4~6月	7~9月	累計
持分法投資利益	億円	228	224	453
アフラック当期純利益	百万USD	1,879	1,755	—
持分比率	%	9.04	9.17	—
為替レート	円	148.61	155.88	—

➤ 自己株式の取得状況 (2024年9月30日現在)

2024年5月15日開催の取締役会において、株主還元の充実及び資本効率の向上を目的とした自己株式の取得を行うことを決議し、5月16日から実施しています。

《概要》

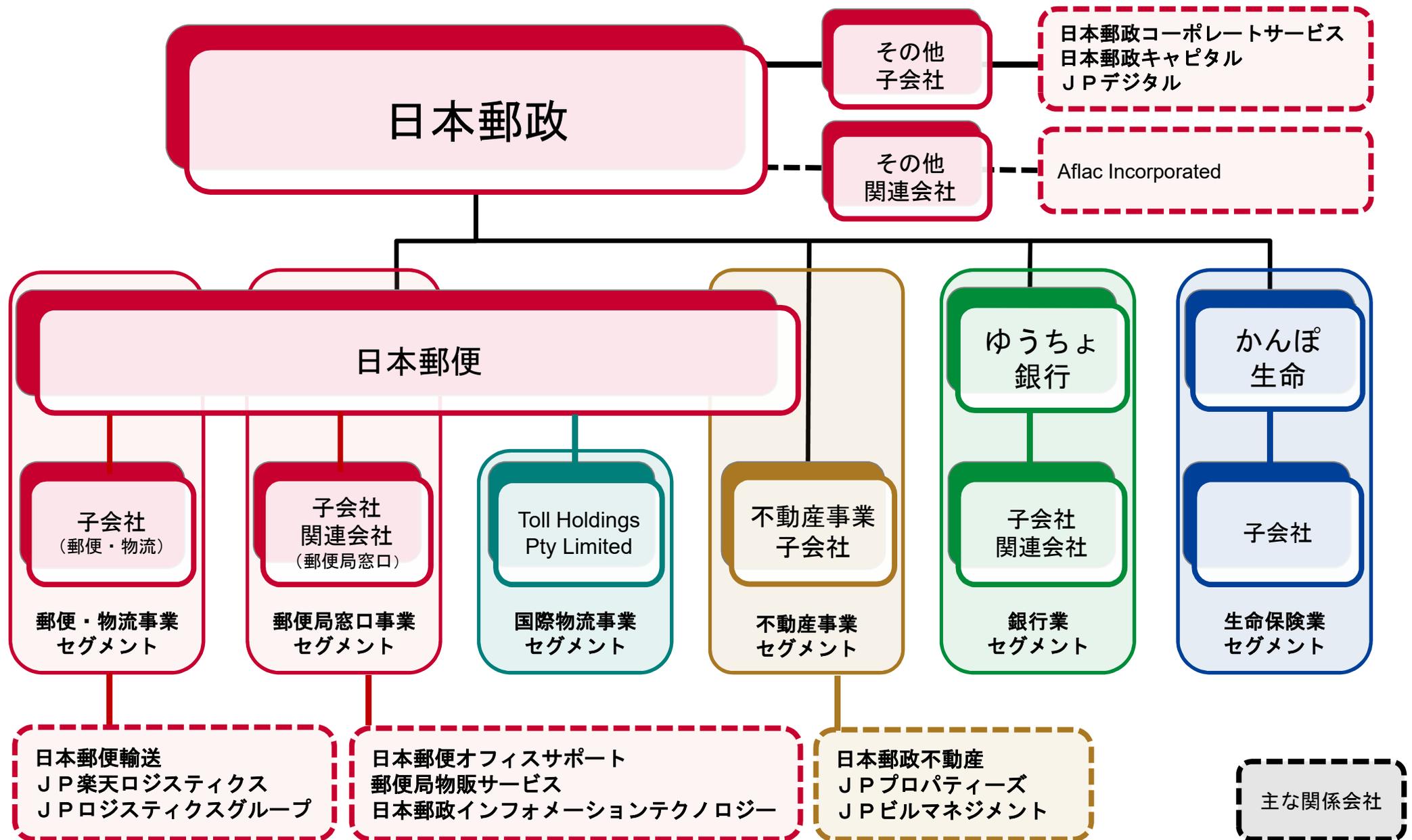
- ・取得期間 : 2024年5月16日
~2025年3月31日
- ・取得株式総数(上限) : 320百万株
- ・取得価額総額(上限) : 3,500億円

《取得状況》



2.

セグメント別の状況



- ・ 取扱数量は、郵便が減少したものの、荷物が増加し、ほぼ横ばい
- ・ 営業収益は、荷物収入が増加したものの、郵便関係収入が減少し、23億円減収
- ・ 営業損益は、減収に加えて人件費及び経費の増加により、赤字幅が439億円拡大

営業損益の増減分析(前中間期比)

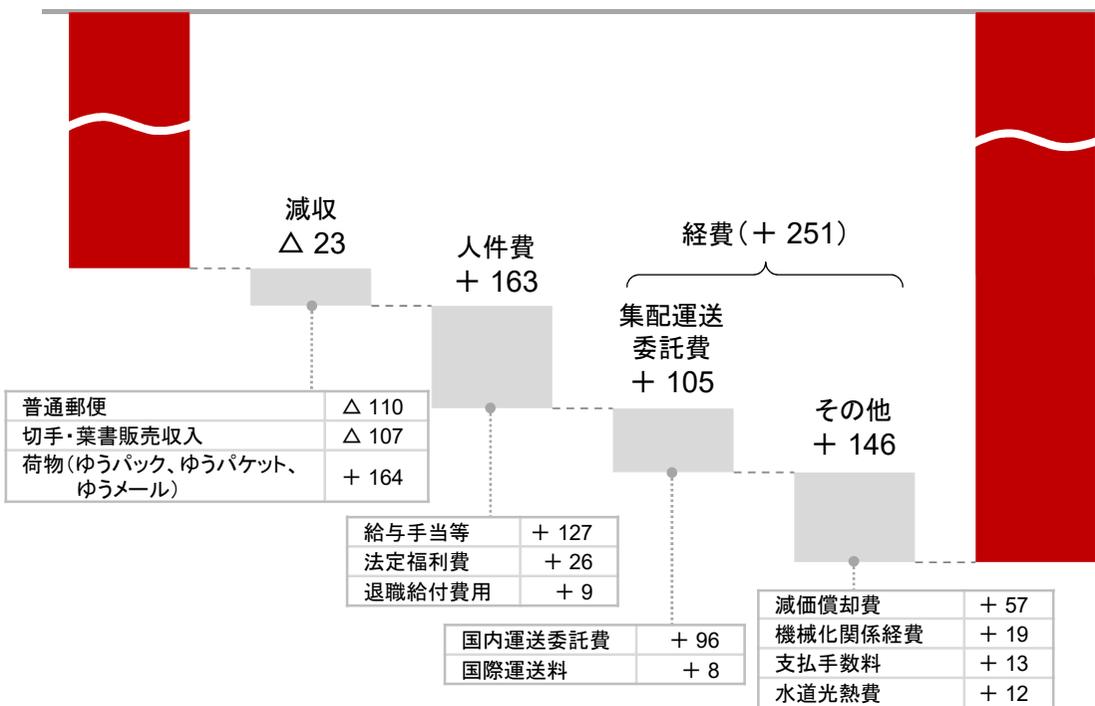
〔営業損益の推移〕

23/3期 中間	24/3期 中間	25/3期 中間
△ 62	△ 508	△ 947

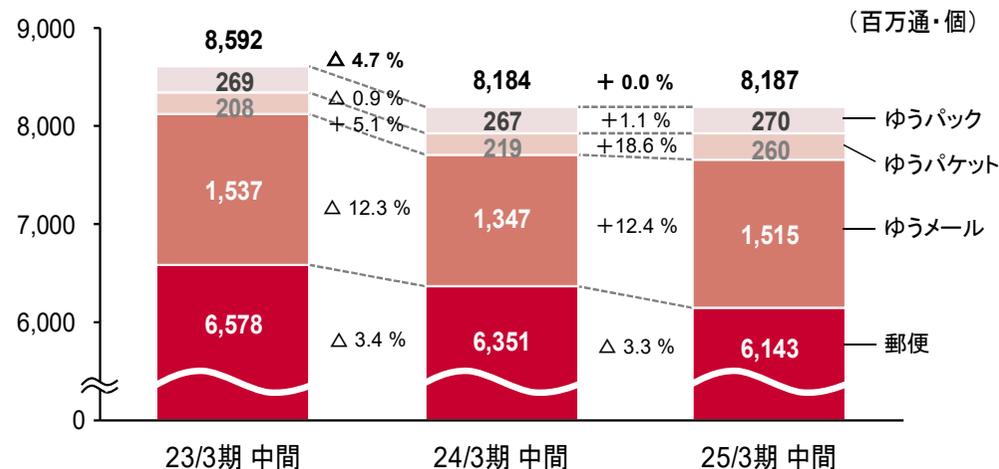
2024/3期
中間
営業損益
△ 508

(億円)

2025/3期
中間
営業損益
△ 947



取扱数量の推移



当第2四半期(中間期)の経営成績

	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
営業収益	9,415	9,392	△ 23
営業費用	9,924	10,340	+ 415
人件費	6,226	6,390	+ 163
経費	3,698	3,949	+ 251
営業損益	△ 508	△ 947	△ 439

注：2025/3期から不動産事業セグメントを新設したことに伴い、2024/3期の数値を組替え。

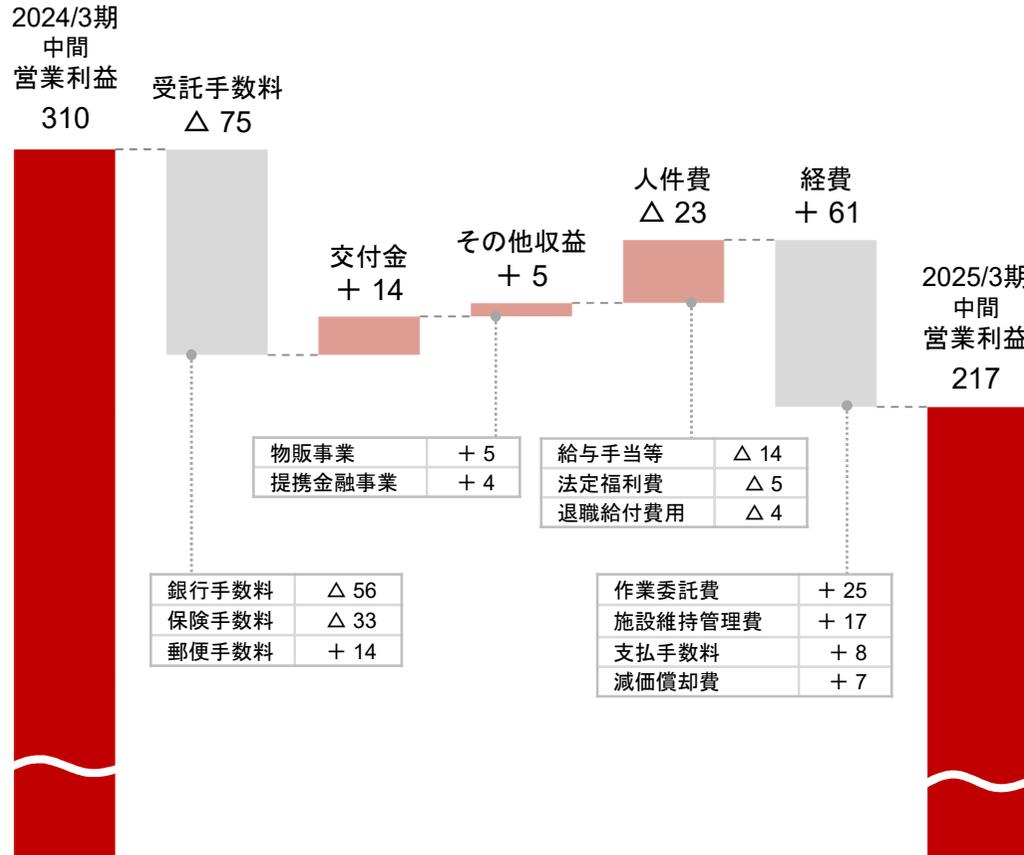
- ・ 営業収益は、銀行手数料、保険手数料の減少が継続し、55億円減収
- ・ 営業利益は、減収に加えて経費の増加等により、93億円減益

営業利益の増減分析(前中間期比)

〔営業利益の推移〕

23/3期 中間	24/3期 中間	25/3期 中間
371	310	217

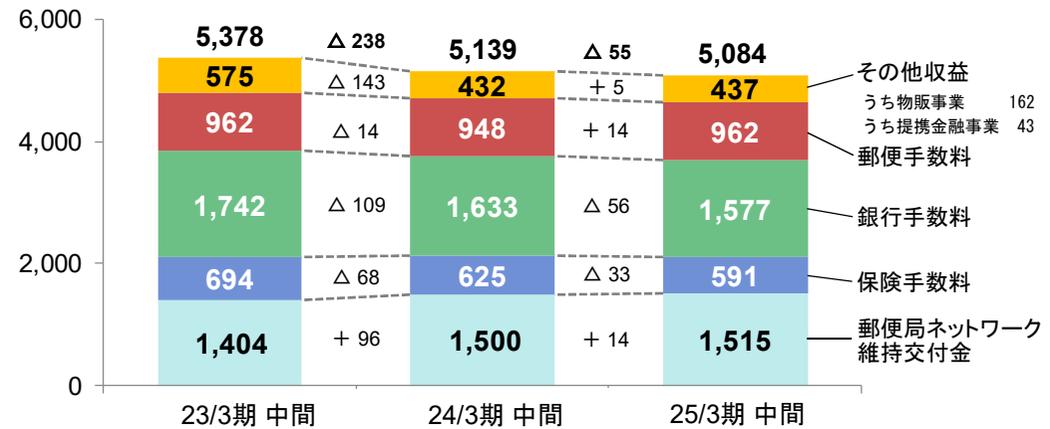
(億円)



注：2025/3期から不動産事業セグメントを新設したことに伴い、2024/3期の数値を組替え。

収益構造の推移

(億円)



当第2四半期(中間期)の経営成績

(億円)

	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
営業収益	5,139	5,084	$\Delta 55$
営業費用	4,829	4,866	$+ 37$
人件費	3,564	3,540	$\Delta 23$
経費	1,264	1,326	$+ 61$
営業利益	310	217	$\Delta 93$

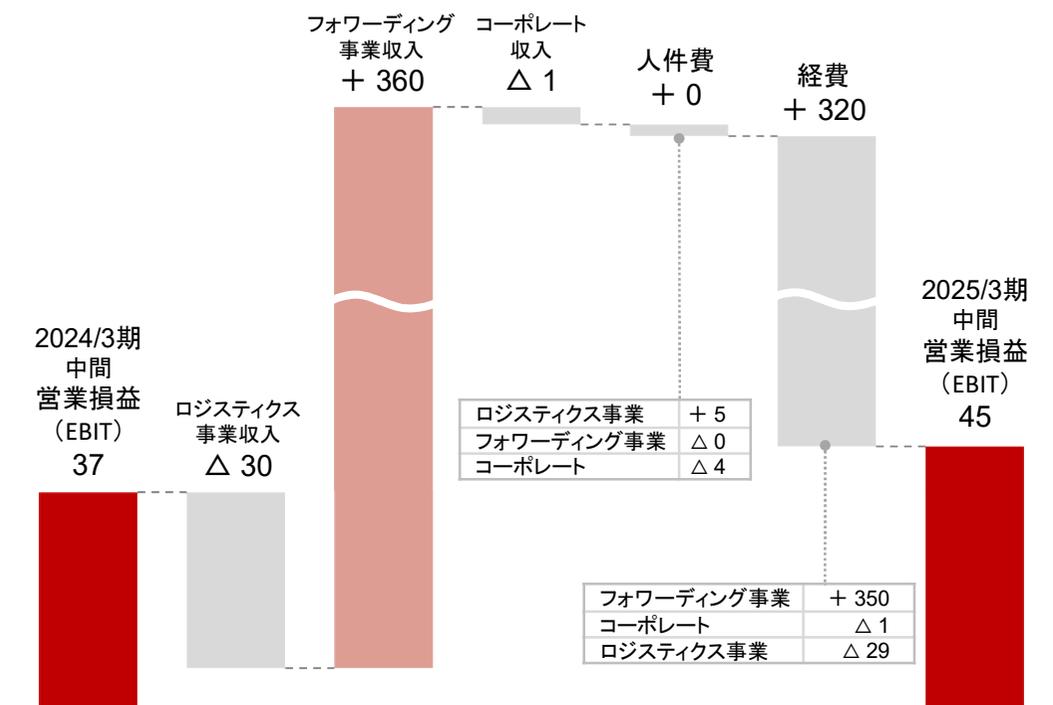
- ・ 営業収益は、フォワーディング事業収入の増加等により、519億円増収
- ・ 営業損益(EBIT)は、概ね前中間期と同水準

営業損益(EBIT)の増減分析(前中間期比)

〔営業損益(EBIT)の推移〕

23/3期 中間	24/3期 中間	25/3期 中間
86	37	45

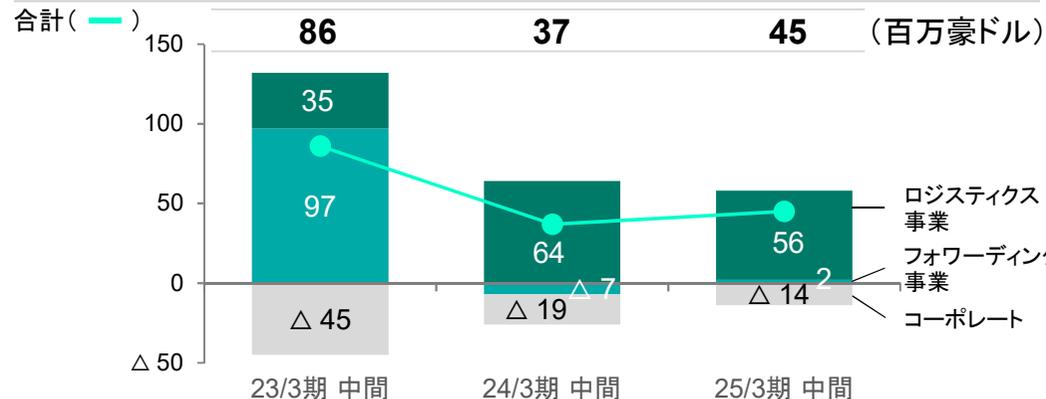
(百万豪ドル)



注1: 表の下段括弧内は期中平均レート(2025/3期中間期 101.37円/豪ドル、2024/3期中間期 93.22円/豪ドル)での円換算額。

注2: 2025/3期のセグメント間の一部事業の組替えに併せて、2024/3期及び2023/3期の数値を組替え(全体合計額は一致)。

事業別の営業損益(EBIT)の推移



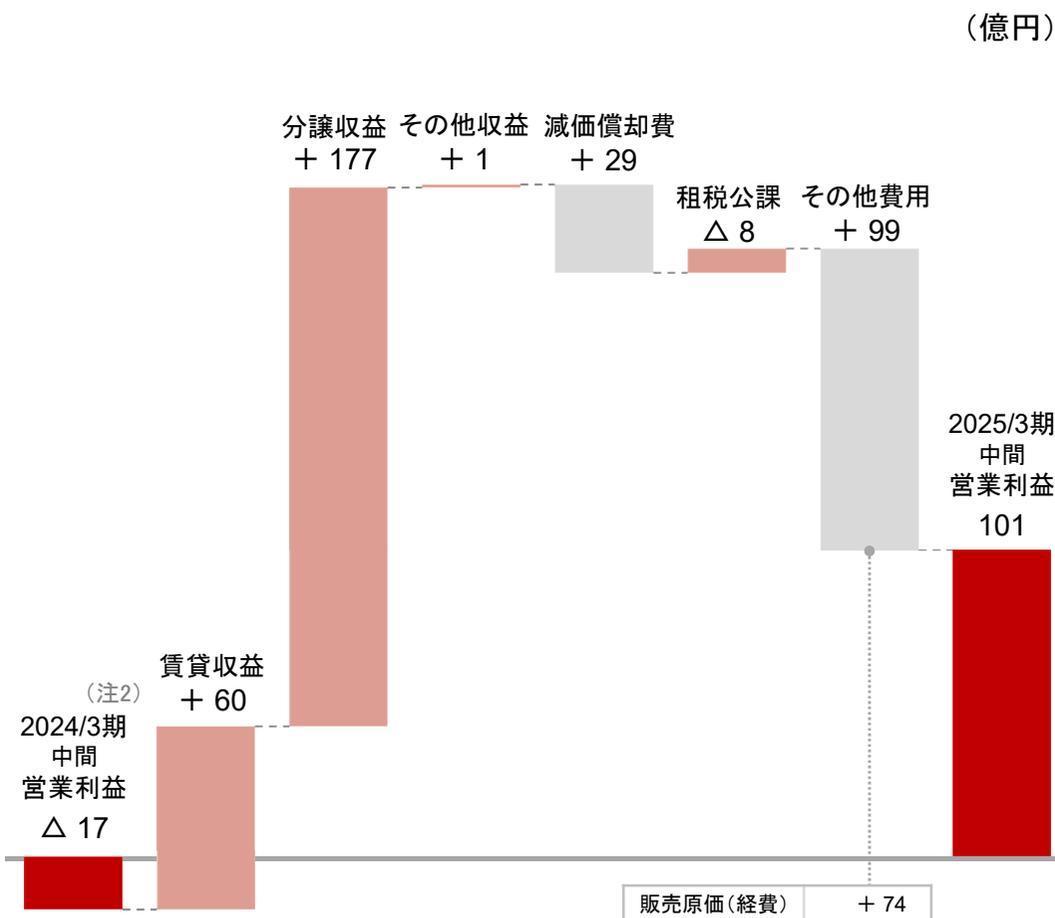
当第2四半期(中間期)の経営成績

(百万豪ドル、下段括弧内は億円)

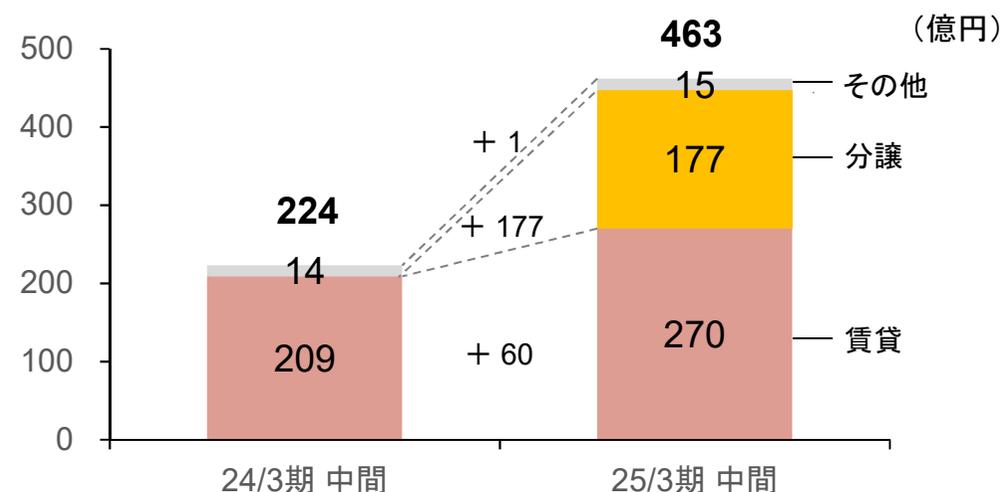
	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
営業収益	2,284 (2,130)	2,613 (2,649)	+ 328 (+ 519)
営業費用	2,247 (2,095)	2,568 (2,603)	+ 320 (+ 508)
人件費	662 (617)	662 (671)	+ 0 (+ 54)
経費	1,584 (1,477)	1,905 (1,931)	+ 320 (+ 454)
営業損益(EBIT)	37 (34)	45 (45)	+ 8 (+ 11)

- ・営業収益は、賃貸物件の稼働率向上や分譲収益の計上等により239億円増収
- ・営業費用は、販売原価の計上等により120億円増加し、営業利益は101億円を計上

営業利益の増減分析(前中間期比)



営業収益の推移



当第2四半期(中間期)の経営成績

(注2) (億円)

	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
営業収益	224	463	+ 239
賃貸	209	270	+ 60
分譲	—	177	+ 177
営業費用	241	362	+ 120
営業損益(※)	△ 17	101	+ 118

注1: 当期(2025/3期)から事業セグメント区分を変更し、新たに不動産事業セグメント(日本郵便の不動産事業、日本郵政不動産、JPビルマネジメント及びJPプロパティーズで構成)の業績を開示。

注2: 前期(2024/3期)の値は、当期からの区分に対応するよう組替えを行い、比較情報を作成。

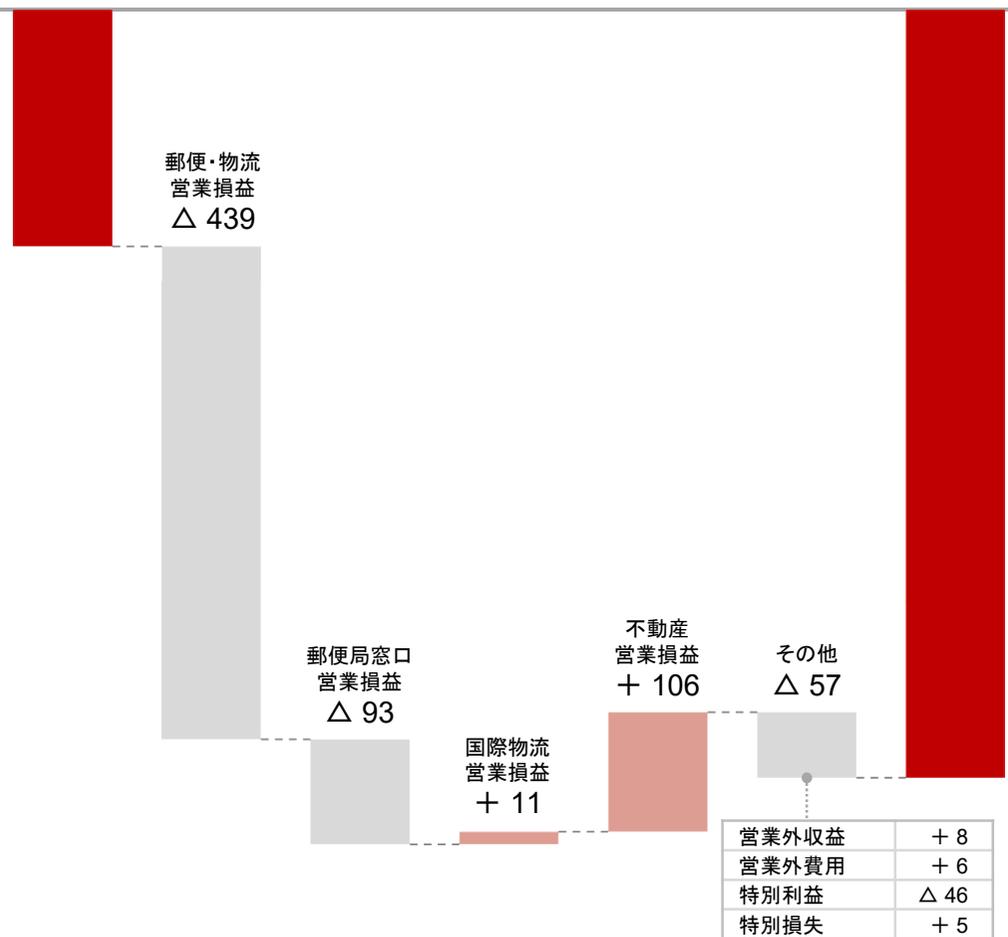
※ 経常利益は93億円(前中間期比+113億円)

中間純損益の増減分析(前中間期比)

(億円)

〔営業損益の推移〕			〔中間純損益の推移〕		
23/3期 中間	24/3期 中間	25/3期 中間	23/3期 中間	24/3期 中間	25/3期 中間
350	△ 201	△ 626	263	△ 210	△ 683

2024/3期 中間純損益 △ 210 2025/3期 中間純損益 △ 683



当第2四半期(中間期)の経営成績

(億円)

	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
営業収益	15,798	16,413	+ 614
営業費用	16,000	17,039	+ 1,038
人件費	10,413	10,606	+ 193
経費	5,586	6,432	+ 845
営業損益	△ 201	△ 626	△ 424
経常損益	△ 229	△ 651	△ 422
特別損益	64	11	△ 52
税引前中間純損益	△ 165	△ 639	△ 474
中間純損益	△ 210	△ 683	△ 472

- ・ 中間純利益は2,228億円、406億円の増益

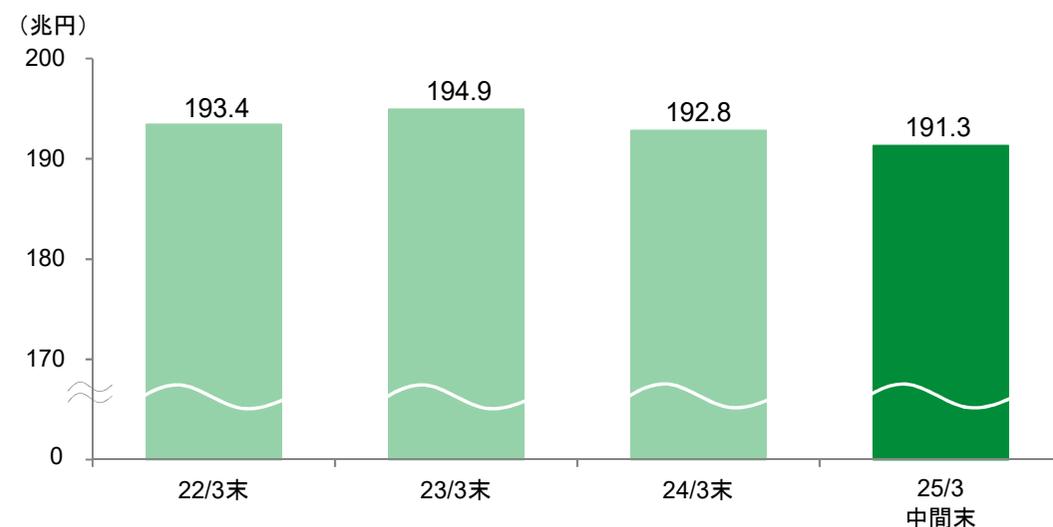
当第2四半期(中間期)の経営成績(連結)

	(億円)		
	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
連結粗利益	3,777	5,284	+ 1,506
資金利益	3,379	4,526	+ 1,146
役務取引等利益	775	787	+ 11
その他業務利益	△ 377	△29	+ 347
うち外国為替売買損益	△ 238	△38	+ 200
うち国債等債券損益	△ 139	8	+ 147
経費（臨時処理分を除く）	4,676	4,643	△ 32
一般貸倒引当金繰入額	—	△ 0	△ 0
連結業務純益	△ 898	641	+ 1,539
臨時損益	3,436	2,573	△ 863
経常利益	2,538	3,214	+ 676
中間純利益	1,821	2,228	+ 406

資金利益の内訳(単体)

	(億円)		
	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
資金利益	3,375	4,526	+ 1,150
資金運用収益	6,776	8,211	+ 1,435
資金調達費用	3,400	3,685	+ 284

貯金残高(単体)



・ 中間純利益は628億円、124億円の増益

当第2四半期(中間期)の経営成績(連結)

(億円)			
	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
経常収益	31,139	29,434	△ 1,705
経常費用	30,146	27,765	△ 2,380
経常利益	993	1,668	+ 675
特別損益	70	△ 205	△ 276
価格変動準備金戻入額 ^注	70	△ 204	△ 275
契約者配当準備金繰入額	344	573	+ 229
中間純利益	504	628	+ 124
新契約年換算保険料 (個人保険)	452	1,130	+ 677
	2024/3期	2025/3期 中間	増減
保有契約年換算保険料 (個人保険)	29,873	29,422	△ 451

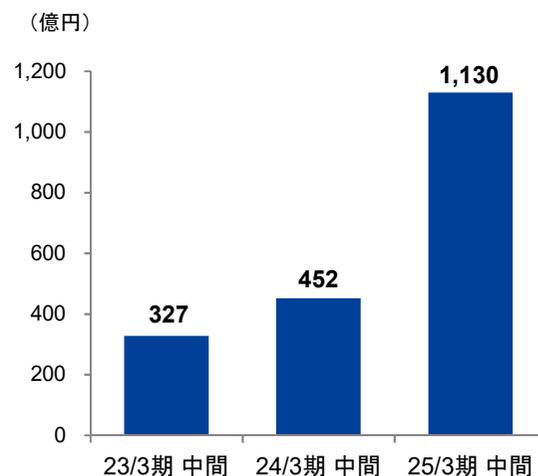
注: 符号がプラスの場合は戻入を、マイナス(△)の場合は繰入を示す。

(参考) 経常利益の内訳(単体)

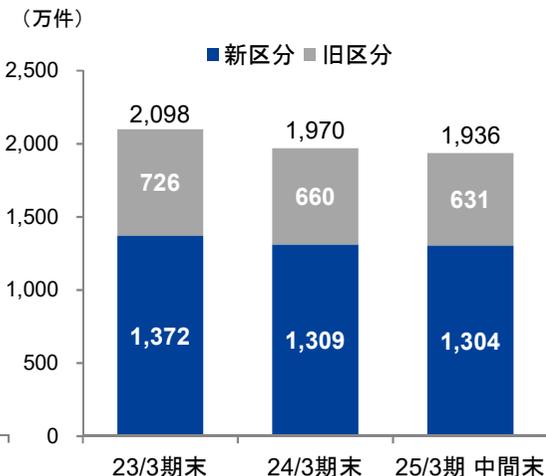
(億円)			
	2024/3期 中間	2025/3期 中間	増減
基礎利益	1,317	1,162	△ 155
キャピタル損益	57	450	+ 393
臨時損益	△ 372	56	+ 429
経常利益	1,002	1,669	+ 667

契約の状況(個人保険)

【新契約年換算保険料】



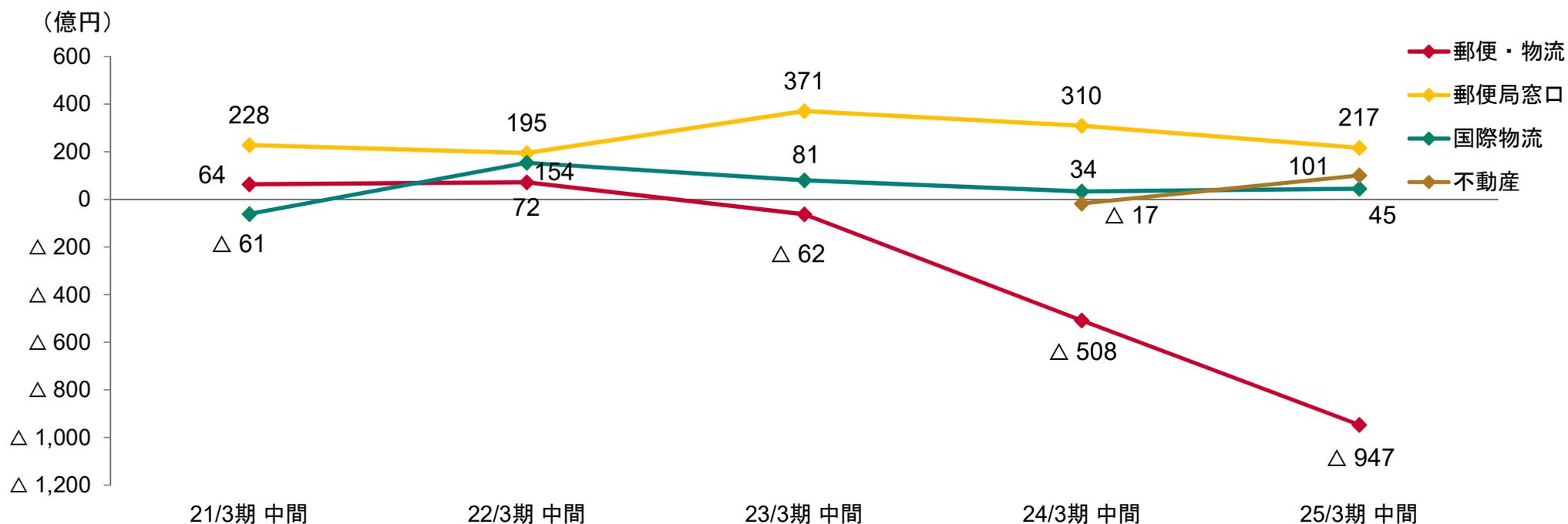
【保有契約件数】



➤ 通期業績予想の進捗率(セグメント別)

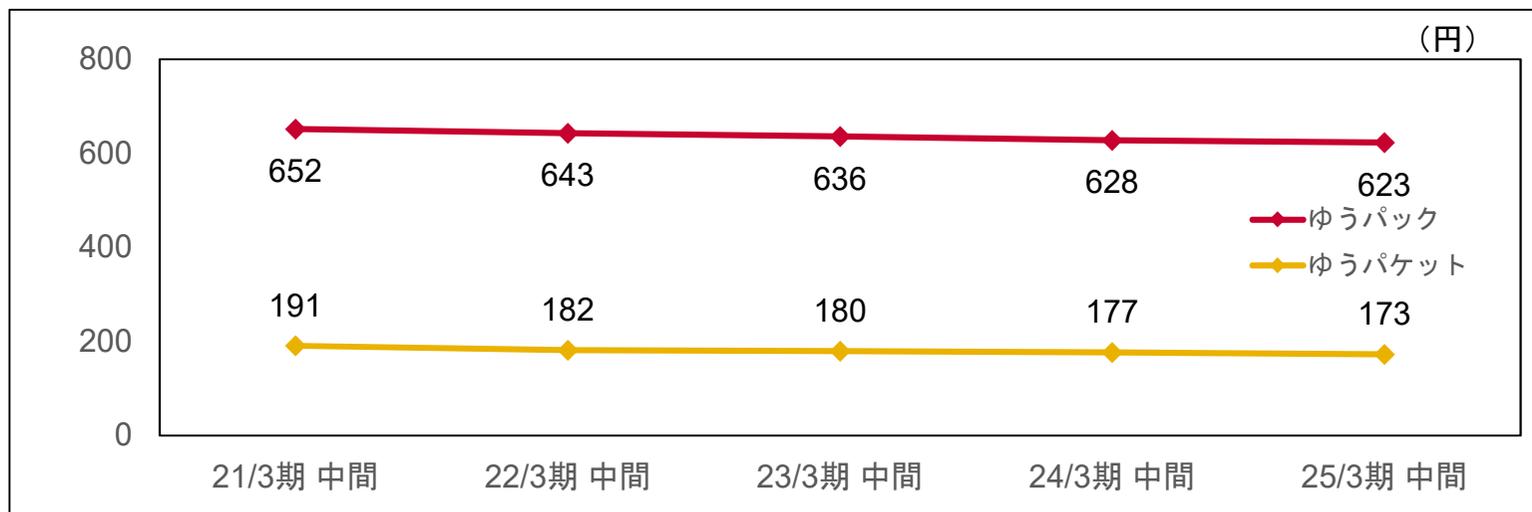
		(億円)			
		郵便・物流事業 セグメント	郵便局窓口事業 セグメント	国際物流事業 セグメント	不動産事業 セグメント
営業損益予想		10	△ 180	120	40
(中間進捗率)		(一)	(一)	(38.3%)	(252.7%)

➤ 営業損益の推移(セグメント別)

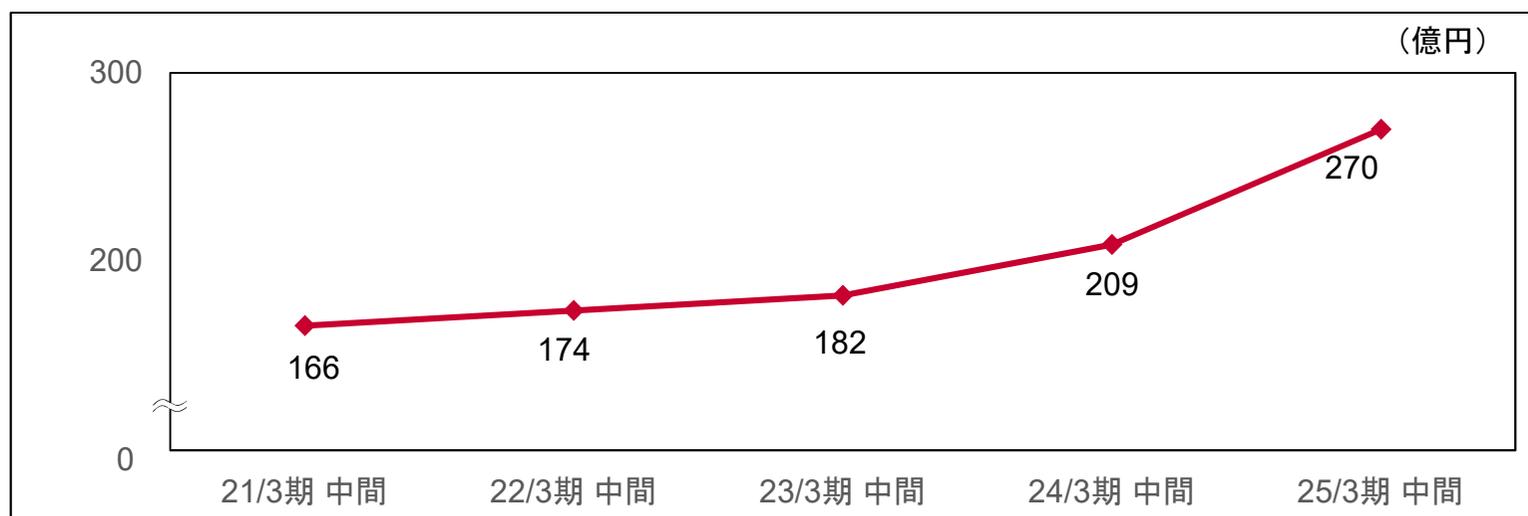


注: 国際物流事業セグメントはEBITを記載。銀行業セグメント・生命保険業セグメントはP2を参照。

➤ 【郵便・物流事業セグメント】ゆうパック等の単価の推移



➤ 【不動産事業セグメント】賃貸収益の推移



3.

資料編

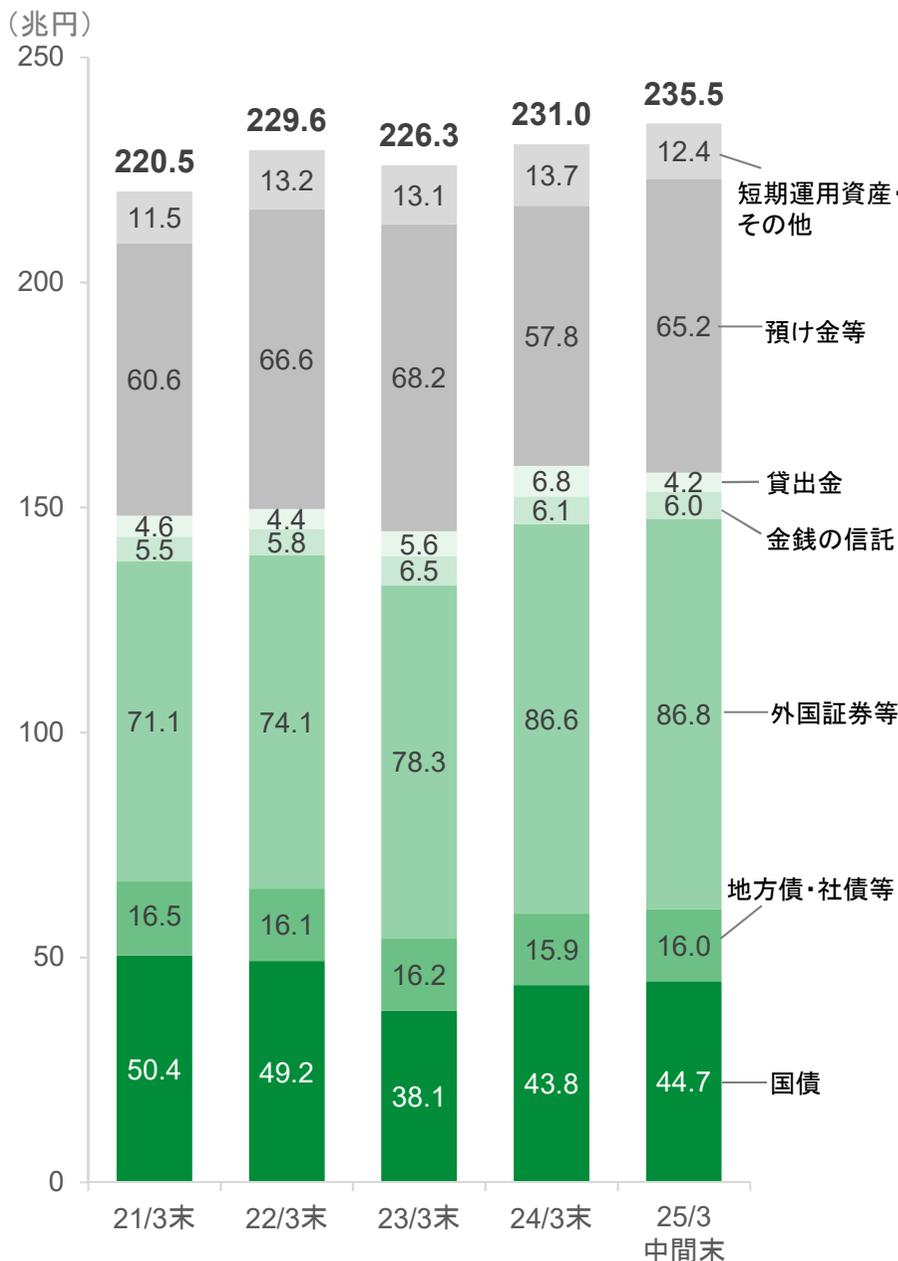
要約連結貸借対照表

(億円)

	2024/3期	2025/3期 中間	増減
現金預け金	595,074	673,226	+ 78,151
コールローン	20,500	17,600	△ 2,900
買現先勘定	107,898	101,936	△ 5,961
金銭の信託	124,350	122,790	△ 1,559
有価証券	1,947,440	1,964,011	+ 16,570
貸出金	101,297	69,937	△ 31,359
有形固定資産	32,335	32,189	△ 145
無形固定資産	2,985	3,045	+ 60
繰延税金資産	7,049	8,486	+ 1,436
資産の部合計	2,986,891	3,033,226	+ 46,335

	2024/3期	2025/3期 中間	増減
貯金	1,908,730	1,899,126	△ 9,604
売現先勘定	279,476	346,514	+ 67,037
保険契約準備金	519,883	515,778	△ 4,105
債券貸借取引受入担保金	23,737	21,954	△ 1,783
借入金	21,534	24,868	+ 3,334
退職給付に係る負債	20,542	21,036	+ 494
負債の部合計	2,829,506	2,879,064	+ 49,557
純資産の部合計	157,385	154,162	△ 3,222
負債及び純資産の部合計	2,986,891	3,033,226	+ 46,335

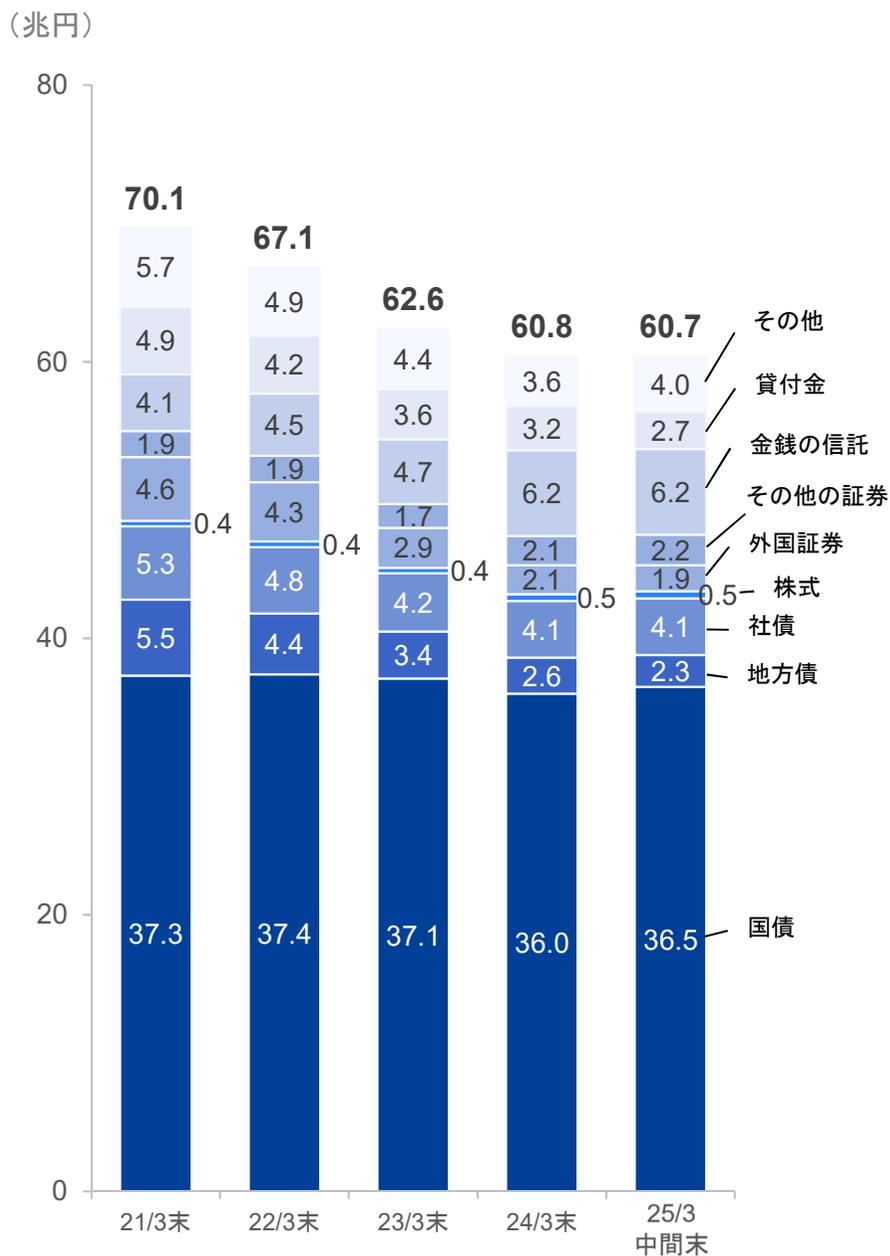
ゆうちょ銀行（単体） 資産運用の状況



(億円)

	2024/3期	構成比 (%)	2025/3期 中間	構成比 (%)	増減
有価証券	1,464,593	63.3	1,476,106	62.6	+ 11,512
国債	438,620	18.9	447,852	19.0	+ 9,231
地方債・社債等 ^{注1}	159,923	6.9	160,140	6.7	+ 216
外国証券等	866,048	37.4	868,113	36.8	+ 2,064
うち外国債券	293,267	12.6	279,097	11.8	△ 14,169
うち投資信託 ^{注2}	571,560	24.7	587,592	24.9	+ 16,032
金銭の信託	61,635	2.6	60,767	2.5	△ 868
うち国内株式	11,275	0.4	7,992	0.3	△ 3,282
貸出金	68,483	2.9	42,000	1.7	△ 26,483
預け金等 ^{注3}	578,723	25.0	652,389	27.6	+ 73,666
短期運用資産・その他 ^{注4}	137,144	5.9	124,615	5.2	△ 12,528
運用資産合計	2,310,580	100.0	2,355,879	100.0	+ 45,298

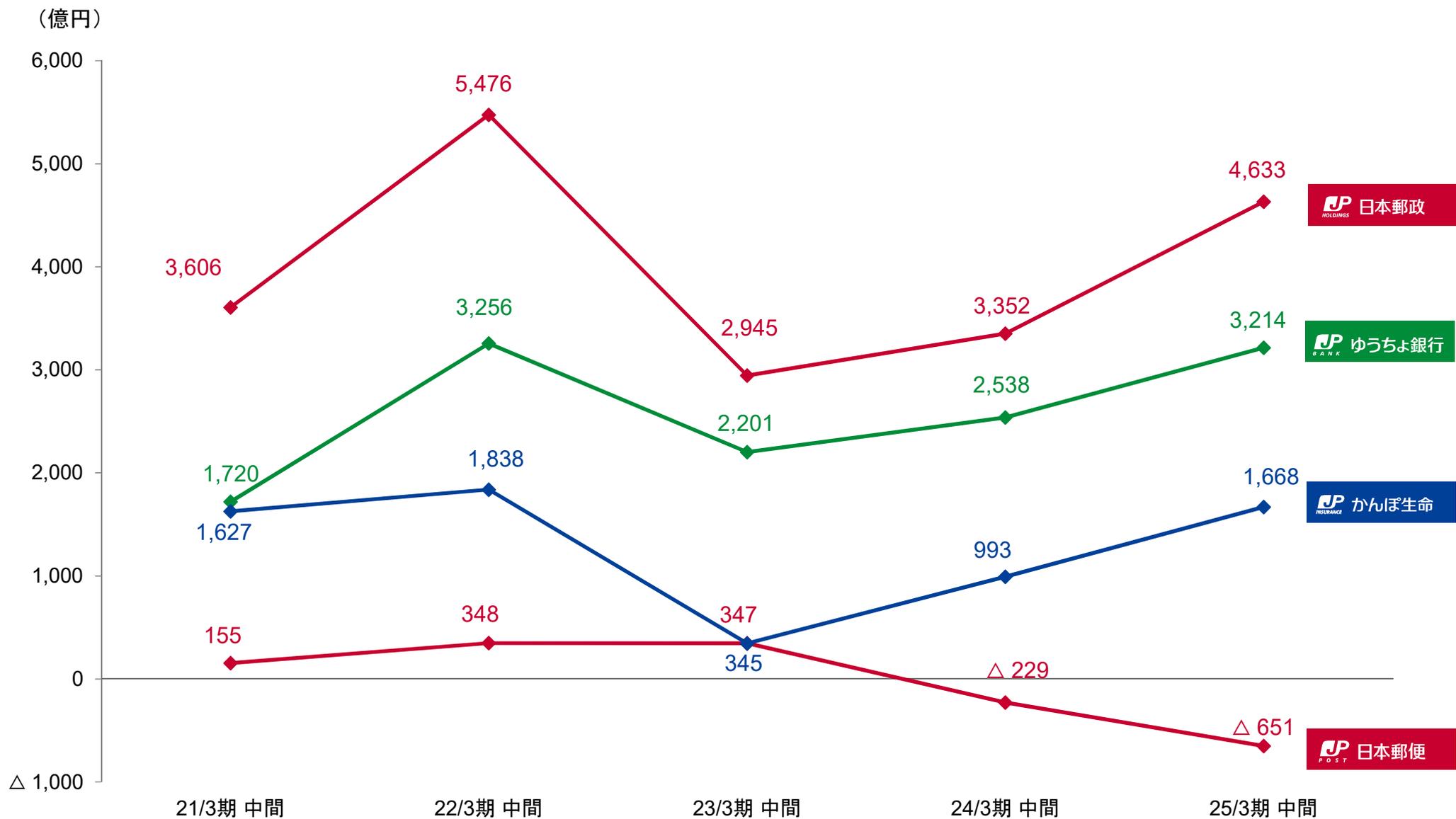
注1: 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。
 注2: 投資信託の投資対象は主として外国債券。プライベートエクイティファンド等を含む。
 注3: 「預け金等」は日銀預け金、買入金銭債権。
 注4: 「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先勘定等。



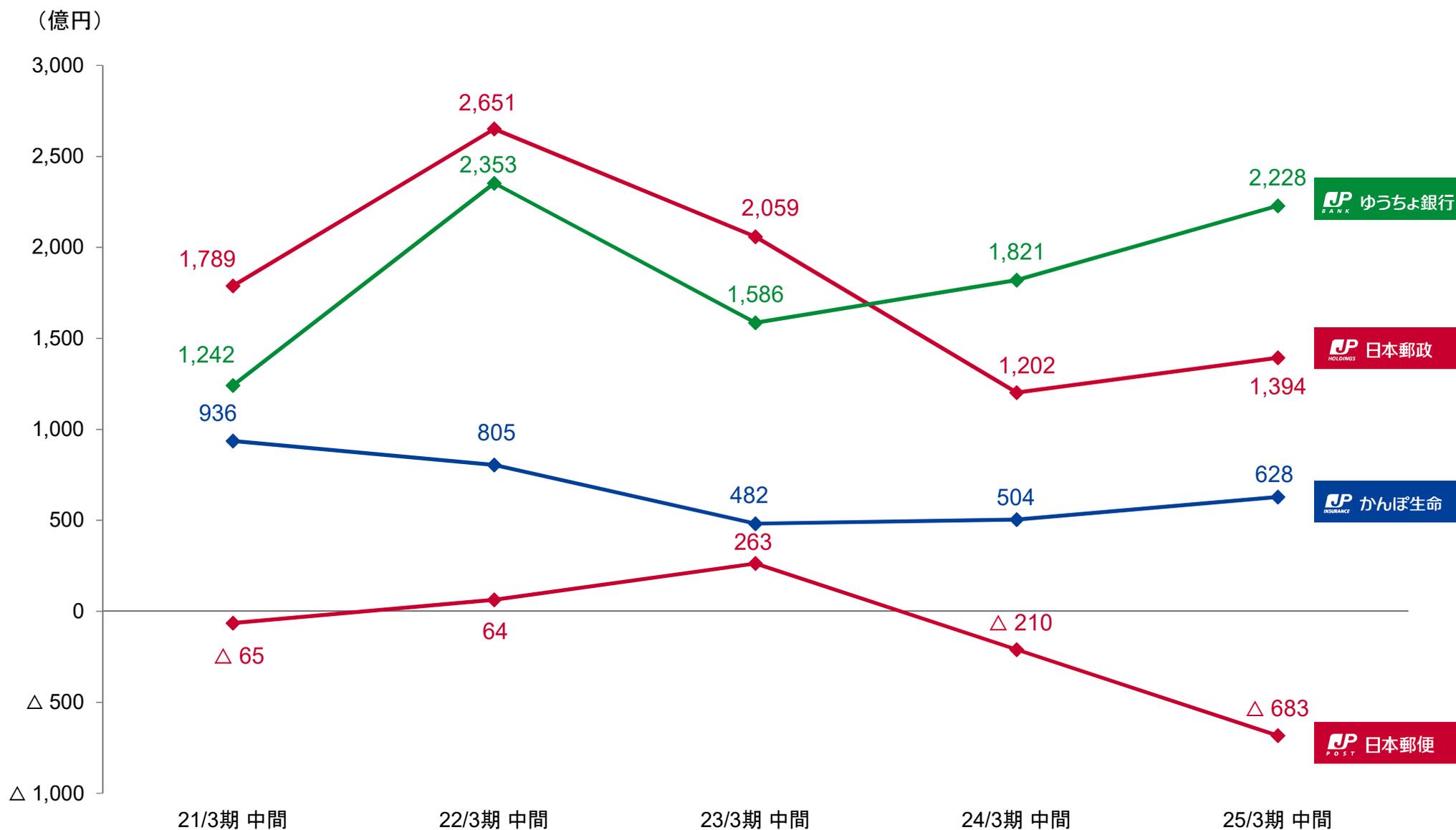
(億円)

	2024/3期	構成比 (%)	2025/3期 中間	構成比 (%)	増減
有価証券	476,938	78.4	477,746	78.6	+ 808
国債	360,375	59.2	365,229	60.1	+ 4,853
地方債	26,345	4.3	23,293	3.8	△ 3,051
社債	41,198	6.8	41,844	6.9	+ 646
株式	5,577	0.9	5,518	0.9	△ 58
外国証券	21,688	3.6	19,348	3.2	△ 2,339
その他の証券	21,752	3.6	22,511	3.7	+ 758
金銭の信託	62,714	10.3	62,022	10.2	△ 691
うち国内株式	31,071	5.1	30,183	5.0	△ 887
貸付金	32,813	5.4	27,937	4.6	△ 4,876
その他	36,093	5.9	40,034	6.6	+ 3,940
総資産	608,558	100.0	607,741	100.0	△ 817

経常損益の推移



中間純損益の推移



本資料に記載されている通期業績予想等将来に関する記述は、当社が現在把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、国内外の金融政策の変更や景気変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。